

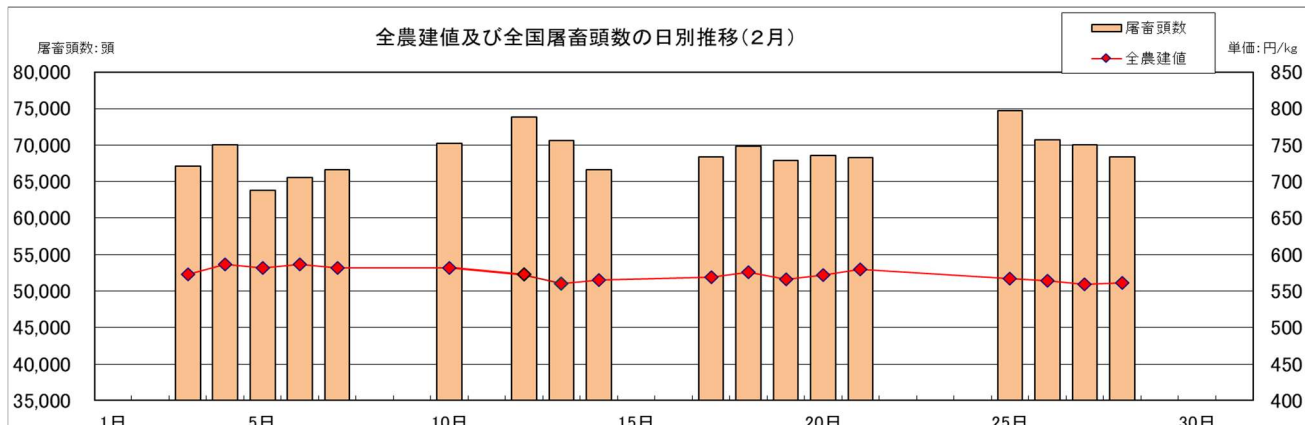
肉豚インフォメーション（2月）

●2月の動向

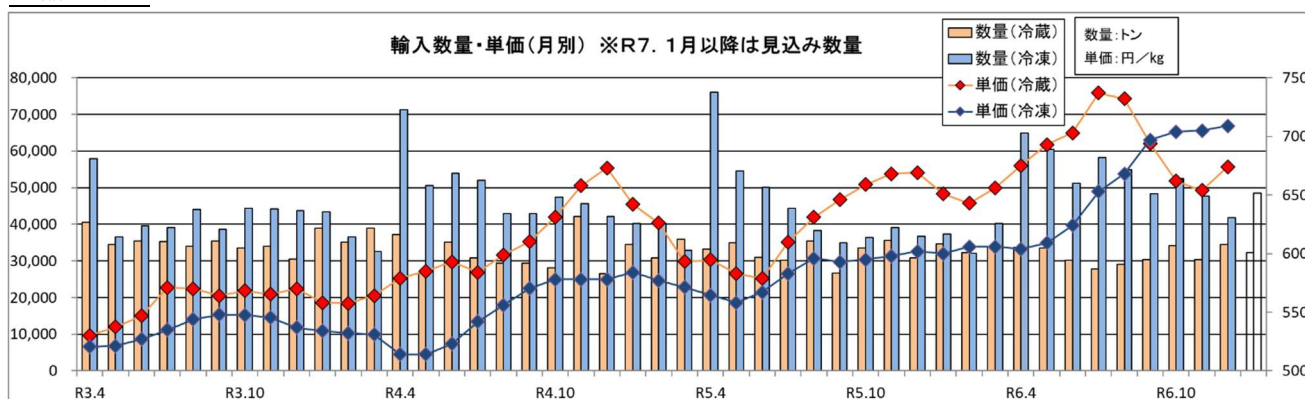
2025年2月（税抜）	2024年2月（税抜）
572 円/kg（20 円高）	552 円/kg

※全農建値

例年、需要が低迷し相場は比較的軟調となる時期だが、今年は疾病の影響や輸入豚肉の入船遅れ、また、寒波の影響により鍋物商材の引き合いが強まったことから安定した需要が継続し、枝肉相場は500円台後半で推移した。

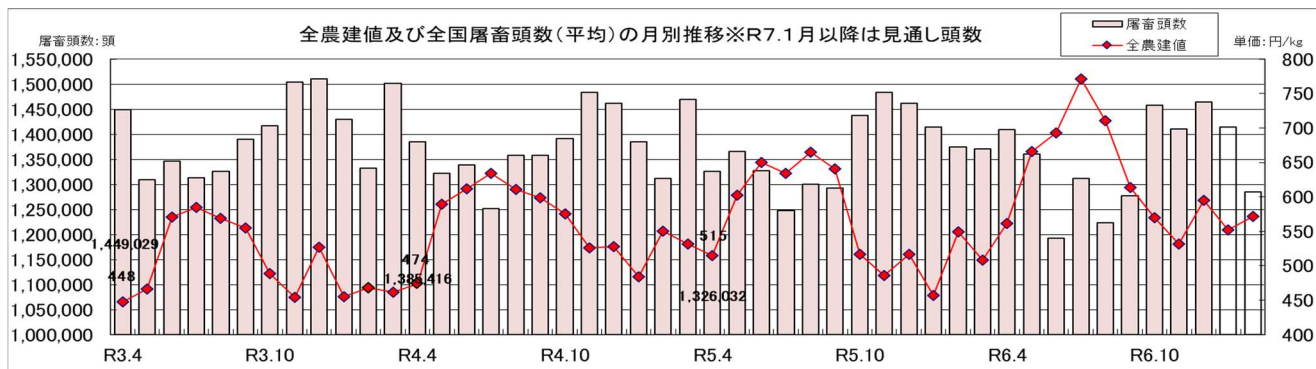


●輸入動向



●3月の動向

3月の出荷頭数については、前年同月よりやや減少、相場は堅調な相場展開と予測。

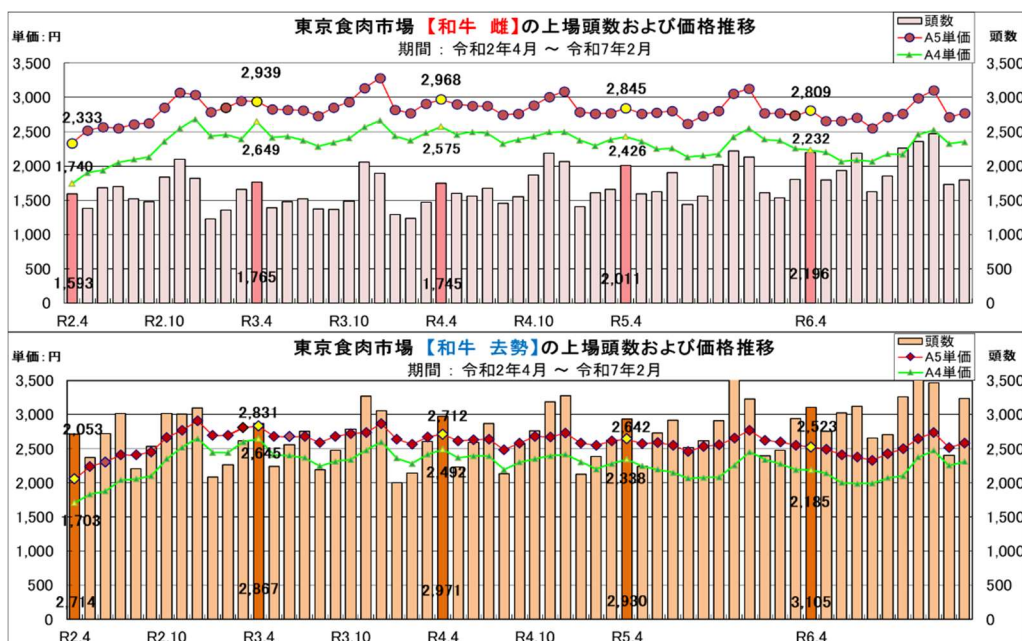


全農建値（税抜）予測レンジは550円～600円とする。

肉牛インフォメーション (2月)

●2月の動向

例年需要の停滞期であるが、厳しい寒さが続いたことから、鍋商材などが動いたことで和牛・交雑牛ともに堅調に推移した。



●3月の動向予測

3月は、謝恩シーズンや春先に向けた行楽需要への手当等で、和牛・交雑牛ともに一定の引き合いが見込まれる。

3月相場は「もちあい」の展開と予想。

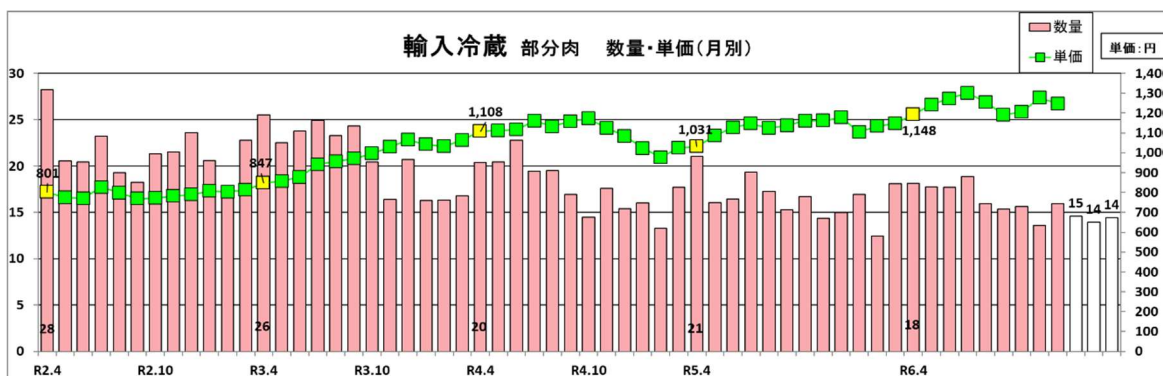
和牛去勢 A5等級 2,550円(税込み) A4等級 2,350円(税込み)

交雑去勢 B4等級 1,650円(税込み) B3等級 1,550円(税込み)

●輸入牛肉

冷蔵品輸入量は、現地価格の高止まりの影響を受けて低調に推移するが、2月は、前年同月の輸入量が少なかったこと等から、前年同月をかなり大きく上回ると予測する。3月は、主要国を含むほとんどの輸入先からの輸入量の減少が見込まれること等から、前年同月を大幅に下回ると予測する。なお、3カ月平均では、前年同期をかなりの程度下回ると予測する。

(ALIC 牛肉の需要予測について2月26日)



食肉インフォメーション（2月）

● 2月の動向

○牛肉

2月は「肉の日」があり、高級部位のロイン系の販売が期待された。しかし、物価高から消費者の節約志向は続き、和牛・交雑牛ともにウデなどのスソ物中心の販売となった。また、真冬並みの寒さが続いたことで、鍋物商材のモモスライスが好調となった。

○豚肉

2月は、寒波による気温の低下に伴う鍋物需要の増加により、バラやカタロースなどのスライス材の動きは好調となった。一方で野菜価格の高騰や食品値上げにより消費者の節約意識は高く、切り落としや挽材など安価なスソ物が中心の販売となった。

● 3月の動向予測

○牛肉

好調なインバウンド需要に加え、送別会・卒業式など祝い事に向け、ロイン系などの高級部位の消費が期待される。依然、家計消費は鈍いが、春のフェアを予定している量販店も多く、荷動きに期待したい。

○豚肉

下旬以降は歓送迎会や花見需要に伴い、バラ・ロースなど焼き材の需要が期待される。しかし、2,300品目以上の食品値上げが報道され、消費者の節約志向は根強く、引き続き切り落としや挽材など安価な商品が販売の中心になると予想される。

● 業態別概況

表：全農いばらき食肉センター 業態別取引先実績（令和7年1月期） 単位：千円、%

年度	J A どきどき	給食	仲卸	食肉 専門店	量販店	飲食店	合計
令和4年度1月	19,834	9,524	25,457	16,170	7,696	3,534	82,215
令和5年度1月	19,383	7,272	28,387	15,019	10,350	4,414	84,825
令和6年度1月	18,732	8,033	33,473	15,369	8,086	4,253	87,946
増減（R5-R6）	-651	761	5,086	350	-2,264	-161	3,121
対比（R4/R6）	94%	84%	131%	95%	105%	120%	83%
対比（R5/R6）	97%	110%	118%	102%	78%	94%	91%